



新潟県立教育センターでは、教育課題についての調査・研究を行っています

○ 特別支援教育

昨年度に引き続き、SWPBS（学校規模ポジティブ行動支援）がもたらす教育的効果について、調査・研究を行っています。昨年度は、県内の特別支援教育コーディネーターにアンケートを実施し、実に75%以上がSWPBSについて、興味・関心をもっていたり実際に取り組んでみたいと思っていたりすることが分かりました。

今年度は、SWPBSに関して見識の深い専門家から助言をいただきながら、三条市立月岡小学校での実践・研究を行います。児童のポジティブな行動に着目した支援を学校全体で行うことで、今日的教育課題の改善にどのような効果があるのか、児童・職員・学校にどのような影響を与えるのか等について調査・研究を進めていきます。



○主体的・対話的で深い学び

当センターでは、「主体的・対話的で深い学びを導く単元デザイン力の育成」をテーマとし、調査・研究を行っています。今年度は、「単元デザイン講座（理論編）」、「個別最適・協働的な学びの実現に向けた授業づくり講座」、そして今年度新設された「あしたの授業をデザインする個別最適・協働的な学びの実践講座」の3つの講座と連携し、「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善を推進するための具体的な方策及び組織としての取り組みの在り方について調査・研究を行っていきたいと考えています。

学習指導要領では、単元を通して資質・能力を育成することが求められています。大切なのは、授業者が、どのような学びの姿を、単元のどの場面で育成していくのかを明確に持ち、単元全体のデザインを考えることです。そこで、当センターでは、実現したい子どもの姿を表現したピクトグラムを貼り付けながら単元構想を練る「単元デザインシート」の活用を提案しています。

また、現在の学校教育では、子どもたちの学び（授業観・学習観）とともに、教師自身の学び（研修観）を転換し、「新たな教師の学びの姿」

（個別最適な学び、協働的な学びの充実を通じた、「主体的・対話的で深い学び」）の実現が求められています。

今後も、これまでの取り組みを活かし、「主体的・対話的で深い学び」に向けた授業改善の調査・研究を進めていきます。

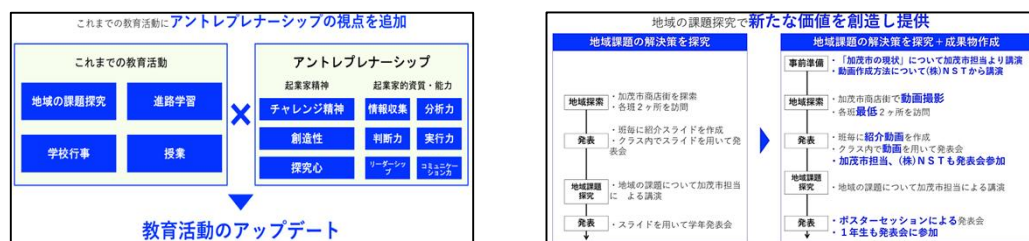


○キャリア教育（アントレプレナーシップ教育）

当センターでは、「アントレプレナーシップ教育」をテーマとし、調査・研究を行っています。アントレプレナーシップ教育は、様々な社会変化の中で主体性をもって課題に挑む人材を育成する教育であり、必ずしも模擬会社を作ったり、企業と連携して商品開発をしたりするような起業家の育成を目指すものではありません。

今年度も「アントレプレナーシップ（起業家精神）を育むキャリア教育推進講座」を開催し、各学校のアントレプレナーシップ教育の推進を支援しています。本講座の中では、以下のような校種別の実践を紹介し、従来の教育活動にアントレプレナーシップ教育の視点を加えることで、自校のキャリア教育をどのようにアップデートすることができるか具体的な方法を学ぶことができる内容となっています。

【本研修で紹介した県立加茂高等学校の取組】



また、小・中・高・特と校種をこえた協議を行い、受講者から「他校種での取組や課題を共有することで、自校の取組を見つめ直す良い時間となった。」や「協議を通して、改善の方向性を明らかにすることができた。」などの声があり、自校の取組の改善に役立っています。今後も、各学校のキャリア教育を見直すための有効な方策について、調査・研究を進めます。

新設講座の紹介

令和8年度教職員研修計画の重点に対応した研修の中で、教職員のライフステージに応じたオンデマンド研修・講座を2つ紹介します。

○「教育活動に活用するファシリテーション講座【会議・話し合い編】」(No32) 30分

【研修コード：263010-032】

ファシリテーションの基礎から、会議・話し合いについて学び、管理職及び教諭の資質・能力の向上を図る講座です。

申込期間：令和8年4月6日（月）～令和9年2月19日（金）

日程：令和8年5月1日（金）～令和9年2月26日（金）

受講対象：小・中・高・特別支援学校校長、副校長、教頭、主幹教諭、教諭

○「教育活動に活用するファシリテーション講座【学校経営編】」(No34) 25分

【研修コード：263010-034】

ファシリテーションの基礎から、学校経営における具体的な活用方法について学び、管理職の資質・能力の向上を図る講座です。

申込期間：令和8年4月6日（月）～令和9年2月19日（金）

日程：令和8年5月1日（金）～令和9年2月26日（金）

受講対象：小・中・高・特別支援学校校長、副校長、教頭



お知らせ

基本研修に係る受講該当者の調査について

現在、来年度に向けた「基本研修受講該当者調査」を実施しています。調査対象の研修は、教職2年次研修、教職6年次研修、中堅教諭等資質向上研修であり、この調査の回答をもって次年度の受講者を決定しています。

各学校においては、該当者の漏れ落ちがないように調査対象の職員全員への確認作業を必ず行い、実施要項に記載の調査の手順に沿って、8月25日（火）までにご回答ください。よろしくお願いたします。